

●パネラー紹介〈50音順〉

日本初！街路樹条例の立役者

石川 忠義（いしかわ・ただよし）埼玉県久喜市在住 ● 県会議員／元久喜市議会議員

平成14年全国で初めて、街路樹管理条例を市議会に議員提案し可決。その後も議会で街路樹問題を取り上げ、管理指針の策定や自然樹形管理の提案を行う。公園管理や自然生態系保護など、ふるさとの緑保全のため精力的に活動を展開している。

母の立場で命ある街路樹を語る

大武 美緒子（おおたけ・みおこ）埼玉県さいたま市在住 ● フリー編集者・ライター

登山専門誌「山と渓谷」の編集に携わった後、フリー編集者・ライターとして独立。子どもと身近な自然をつなげるをコンセプトにした冊子『Letters 01』（リトルプレス）に「さいたま市&江戸川区街路樹レポート」を掲載。

落ち葉拾いを友好的な架け橋に

河合 耕一（かわい・こういち）富山県南砺市在住 ●〈有〉新樹造園 代表

地元造園団体の役員として、街路樹の啓発活動を行う。建築資料研究社『庭』171号 特集「街路樹は泣いている/拡大する共感の輪」に『街路樹残酷物語』を掲載。2012年より、地元富山で市や市議会、市民団体などに呼びかけて「街路樹感謝祭」を主催。落ち葉拾いを架け橋として市民と街路樹をつなぐ。他、屋敷林の保全活動や山の植樹活動を行うなど、広く緑の保全に携わる。

街路樹のあり方を総合的に語る行政経験者

西野 哲造（にしのみ・てつぞう）東京都江戸川区在住 ● 公益財団法人えどがわ環境財団

江戸川区で30年間にわたり街路樹管理部署に所属。日常管理・植栽等の実務、区の街路樹管理指針や街路樹サイトの作成、視察・研修の対応など緑の啓発活動に関わる。現在、公益財団法人えどがわ環境財団で、水と緑の環境等に関する啓発普及、および利用促進に関わる。

街路樹の剪定文化を伝承するサミット発起人

福岡 徹（ふくおか・ととおる）秋田県能代市在住 ● 福岡造園 代表 代表 庭師

地元市町の合併を機に、街路樹管理の改善を提案。3年の活動を経て、市県の街路樹が自然樹形管理へと改まる。一市民の立場で、街路樹剪定勉強会、日本の街路樹を考える～小さな街路樹サミットIN能代、街路樹景観写真展等を主催。建築資料研究社『庭』198号に「街路樹は微笑む～一市民としての草の根運動『全国街路樹サミット』」開催を夢みて」を掲載。同誌 213～216号（2013年～2014年）に「街路樹礼賛」を連載。

●司会進行

街路樹問題を全国に先がけ発信し続ける

豊蔵 均（とよくら・ひとし）千葉県千葉市在住 ●〈株〉創庭社 代表／隔月刊誌『庭』前編集長

35年以上に渡り全国の作庭者たち取材で回る中、あまりにも凄惨な街路樹管理の仕方を目にし、この国の未来に危機感を抱く。2005年～2009年（全12回）、造園界に先駆けて『庭』誌にて「街路樹は泣いている」のシリーズ特集を組む。街路樹の惨状を憂う作家や地域紙、市民、作庭者、庭園デザイナー、学者など多岐にわたる方々に執筆依頼、社会問題としての街路樹を全国に発信、日本の街路樹改善の動きをつくる。「街路樹は地域の『世間遺産』」を提唱し、「世界街路樹サミット」のサークルを開設する。「木を植えることは、命を植えること」を基本理念に街路樹の未来を広く語り掛けている。

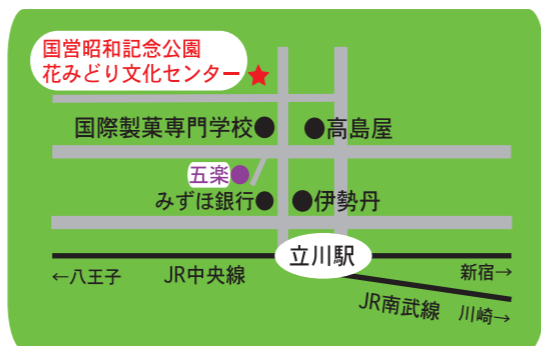
●実行委員会メンバー〈50音順〉

- 群馬 直美 葉画家
- 白井 隆之 燦葉出版社代表
- 高田 美美子 実行委員会事務局
- 西野 哲造 公益財団法人えどがわ環境財団



「街路樹サミットアフターパーティー」

2016年1月9日（土）サミット終了後 16:45～立川駅近く「五楽」にて
会費 3000円（飲物代別）・定員 30人～40人



●2016●

街路樹サミットin立川

開催日 2016年1月9日〈土〉

時間 12:30-16:00 〈12:00開場〉

会場 国営昭和記念公園花みどり文化センター講義室

〒190-8530 東京都立川市緑町3173 <http://www.showakinenpark.go.jp/>
JR中央線・南武線「立川駅」北口より徒歩12分

定員 100名〈参加費・無料●要申し込み〉



主催 ● 街路樹サミット実行委員会 ●

●お申し込みは、info.gairojusamito@gmail.comまで●

件名「街路樹サミット」で、お名前・所属・人数・電話番号・懇親会参加の有無をお書きください。